

水田たより 5月号

令和2年5月1日

桑名地域農業改良普及センター 西山、馬場、大野、鷲野
(TEL: 0594-24-3642)

麦類の栽培管理

今年の気象概要

12月から2月末までの積算気温は
平年比137%となり、記録的な高温となっています。
一方、4月に入ってからの積算気温は
平年比95%となり、平年を下回って推移しています。

11月1日～4月19日の気象状況
積算気温 1,615 (平年比113%)
積算降水量 414 mm(同91%)
積算日照時間 948 時間(同100%)

麦類生育基準田の出穂期・開花期(令和元年11月上旬播種)

品目	品種	場所	出穂期		開花期	
			本年	前年	本年	前年
小麦	さとのそら	桑名市長島町	3月30日	—	4月13日	—
小麦	あやひかり	東員町	4月3日	4月18日	4月15日	4月末
小麦	あやひかり	いなべ市藤原町	4月8日	4月21日	4月23日	4月26日
大麦	ファイバースノウ	いなべ市大安町	4月10日	4月8日	4月15日	4月18日
大麦	ファイバースノウ	いなべ市藤原町	4月13日	4月21日	4月17日	4月27日

冬季の生育はとても旺盛で、3月末の時点で、平年より10日ほど早くなりました。

4月は平年を下回る気温が多かったものの、依然として、開花期は前年と比較して3～10日ほど早い状態になっています。なお、収穫適期も平年より早いことが予想されます。

収穫作業

水分を測定し、適期に収穫を！

- ・麦類の収穫適期は**穀粒水分が28%以下**になった時です。
- ・例年、小麦で出穂期から約53日後、大麦で出穂期から約44日後となります。
- ・立毛中の水分低下は**1日に2～3%程度**ですが、その日の天候により大きく変動します。好天で風の強い日には5%以上低下するもありますが、曇天時にはあまり減少しません。

収穫適期の見分け方

	早刈り×	収穫適期	刈り遅れ×		
麦粒の水分	40%	30%	20%		
収穫適期まで	-10日	-5日	0日(適期)	+8日	
麦粒の色	緑がる	黄褐色	褐色		
硬さ(指の腹で)	つぶせる	押しつぶせる	つぶせない		
硬さ(爪の先で)	つぶせる	容易に割れる	少し硬い	何とか割れる	割りにくい
断面形状	柔らかい糊状	硬い糊状	固形状		

刈遅れに注意！

- ・水分が20%以下になると、脱粒や穂首折れ等により、収穫ロスが急激に増加します。
- ・成熟期後に降雨が続くと、穂発芽が促進され、低アミロ粒となることがあります。めん等への加工適性が著しく低下するうえ、農産物検査のランク区分にも大きく影響します。

(裏面へ)

水稻の栽培管理

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）対策

ジャンボタニシは水温が17 に達したころから、水稻の摂食を開始します。

早い圃場では4月から発生が見られ、下旬から食害が旺盛になると予想されます。特に今年は5月以降が高温予想であるため注意が必要です。

移植前対策

貝は水深のある部分で集中的に食害を行います。 水深3cm以下では活動が抑制されます。代掻きでは凸凹をなるべく減らし、「均平」を取るよう心掛けましょう。

移植後対策

水稻への被害は、葉身や葉鞘の柔らかい移植後30日間に集中します。

貝の動き出しを確認したら、移動や拡散を防ぐために、浅水管理を行いましょう。

発生密度が高い場合は、ジャンボタニシに登録のある資材で防除しましょう。

薬剤散布は湛水状態を保ち、1週間は圃場外に落水しないよう注意してください。

スクミリンゴガイに登録のある薬剤例（令和2年4月20日時点）

薬剤名	有効成分	使用量	使用時期	備考
ジャンボたにくん	メタアルデヒド	1～2 kg/10a	収穫60日前まで	殺貝剤
スクミノン	メタアルデヒド	1～4 kg/10a	収穫60日前まで	殺貝剤
スクミンベイト3	燐酸第2鉄	2～4 kg/10a	発生時	殺貝剤
パダン粒剤4	カルタップ塩酸塩	4kg/10a	収穫30日前まで	食害防止剤

農薬の使用にあたってはラベルを十分に確認し、安全使用上の注意等に沿って使用してください。



ジャンボタニシ



マルタニシ(在来種)

ジャンボタニシの特徴

貝に丸みがある
らせん状の下位層が大きい
開口部が大きい
触角が長い

水稻栽培における新薬剤試験

近年、管内の水稻栽培において問題となっているのが、ヒレタゴボウとニカメイチュウです。

ヒレタゴボウは中干し前後に発生する雑草で、木化して収穫作業の障害となったり、糞汚れの原因となったりします。ニカメイチュウは業務用米や飼料用米といった晩生品種で多くみられる害虫で、芯枯れ症状を引き起こし、大きな収量減少をもたらすこともあります。

今年は、以下の3剤について生産者のご協力のもと試験圃場を設置させていただき、有効性及び普及性を検討していきます。試験状況や結果は「水田だより」やHPにて報告いたします。

課題	試験薬剤	特徴	試験圃場
ヒレタゴボウ	ツイゲキ 1キロ粒剤	幅広い雑草に高い効果を示し、 中干し前後に散布できる中後期剤	桑名市友村
	アレイル SC	高葉齢雑草にも高い効果を示し、 茎葉処理(液剤)が可能な中後期剤	桑名市長島町
ニカメイチュウ	リディア箱粒剤	ニカメイチュウやウカ類に対し、 長期残効性が期待できる箱施用剤	いなべ市大安町

ホームページにて、過去の水田だよりや他の情報も掲載しております。[桑名普及](#)でご検索ください。